

月経困難でお困りの方へ・・・

器質性ホルモン治療とは？

器質性ホルモン治療は、子宮内膜症や子宮筋腫などの器質的な病気によって引き起こされる月経困難症の治療に用いられます。これらの疾患は、月経時の強い痛みや不妊の原因となることがあり、ホルモン剤を使って症状を軽減することが目的です。

ホルモン治療には、以下のような方法があります：

- ・ 低用量ピル：ホルモンバランスを整え、月経痛を軽減します。
- ・ 黄体ホルモン療法：子宮内膜の増殖を抑え、痛みを軽減します。
- ・ GnRH アゴニスト：一時的に閉経状態を作り、症状を改善します。

婦人科特定疾患指導管理料とは？

婦人科特定疾患指導管理料は、器質性月経困難症の患者さんに対して、計画的な医学管理を行い、療養上必要な指導を行った場合に算定される診療報酬で、以下の条件を満たす必要があります：

1. ホルモン剤を投与している患者であること。
2. 婦人科または産婦人科の医師が、患者の同意を得て、計画的な医学管理を継続して行うこと。
3. 療養上必要な指導を行うこと（例：生活習慣の改善、食事・運動療法の指導など）。
4. 3 か月に 1 回の治療計画の見直しを行うこと。

患者様へのアドバイス

器質性ホルモン治療を受ける際には、以下の点に注意しましょう：

- ・ 治療の目的を理解し、医師と相談しながら進めること。
- ・ 副作用についても確認し、気になる症状があればすぐに医師に相談すること。
- ・ 生活習慣の改善も重要（バランスの取れた食事、適度な運動、ストレス管理など）。

この治療は、患者様の生活の質を
向上させるためのものですので、
気になることがあれば遠慮なく
医師にご相談ください！

月経困難症の種類

機能性月経困難症

痛みやだるさ、集中力の低下などの
症状が月経時に起きる

器質性月経困難症

子宮内膜症や子宮腺筋症など
何らかの原因疾患により起きる

